

## 膨張する薬剤費

### 概算医療費の伸び

8月16日、厚生労働省は2009年度の概算医療費が35兆3千億円に上り、7年連続で過去最高を更新したと発表した。

中医協資料によれば、医療費は年々増加し続けているが、薬剤費はほとんど横ばいに見える（1ページ）。しかし、この薬剤費は出来高請求の薬剤費であり、近年急速に拡大している包括医療(DPC等)に包括される薬剤費は全く含まれていない。

概算医療費は毎年1兆円ずつ増えている訳ではない。対前年増減額でみると、1兆円増えているのは、2001年度、2005年度、2007年度、2009年度といずれも、改定年度の翌年である。これは5ページのレセプト1件当り薬剤費の伸びと連動している。

2009年度は前年と比較して1.2兆円増（入院4,300億円増、入院外7,900億円増）であるが、入院外の増加分7,900億円の大半は薬剤費7,500億円で占められる。

### 概算医療費の中身

2009年度の概算医療費の内訳は、病院が18.7兆円（入院13.7兆円、外来5.0兆円）、医科診療所8.1兆円（入院0.3兆円、外来7.8兆円）、歯科2.6兆円、調剤薬局5.9兆円である。

これを2001年度と比較すると、8年間で入院1.7兆円、入院外3.2兆円、合計4.9兆円増加している（2ページ）。

入院外医療費の伸び3.2兆円の内訳を見ると、医科診療所は0.6兆円増と緩やかな伸びを示し、歯科はほぼ横ばいである。これに対して調剤薬局の伸びは2.6兆円増（+80.5%）と突出し、2009年度には5.9兆円に達している（3ページ）。

しかし、増加している調剤薬局の医療費の大半は薬剤費の増加によるもので、2009年度の調剤医療費の74.0%が薬剤費で占められる。また、院外処方率が2001年の41.5%から2009年には62.0%と増加していることも調剤薬局の医療費の伸びの要因となっている（4ページ）。

### 急増するレセプト1件当り薬剤費

レセプト1件当りでみると、入院外医療費は歯科、医科診療所ともに年々減少し、2001年度を基準とすると、2009年度で医科診療所はマイナス10.8%、歯科はマイナス14.8%に達する。医科診療所は院外処方の増加を加味して評価する必要があるが、歯科の場合には数字通りのマイナス改定といえる。病院の入

院外医療費が増加しているのは、病院の入院外レセプト件数の減少と、より重症の患者が集中した結果によるものと考えられる。

薬価は改定のたびに▲4.2%～▲6.7%のマイナス改定である。しかし、薬価改定率の計算式には新薬の薬価は含まれていない。このため改定年度には一時的に下がるものの、新薬の売り上げと高齢化に伴う薬剤使用量の増加と相まって、改定翌年には上昇し、2009年度には+27.5%と急速に増加している(5ページ)。

### 医療費自然増の本体は薬剤費

2001年度から2009年度までの医療費の伸び4.9兆円のうち、入院外は医科、調剤で3.2兆円、歯科マイナス0.06兆円である。薬剤費とともに年々増加しているのが人工透析の費用である。透析患者は毎年1万人ずつ上昇し、日本透析医学会によれば2009年には29万人とされている。

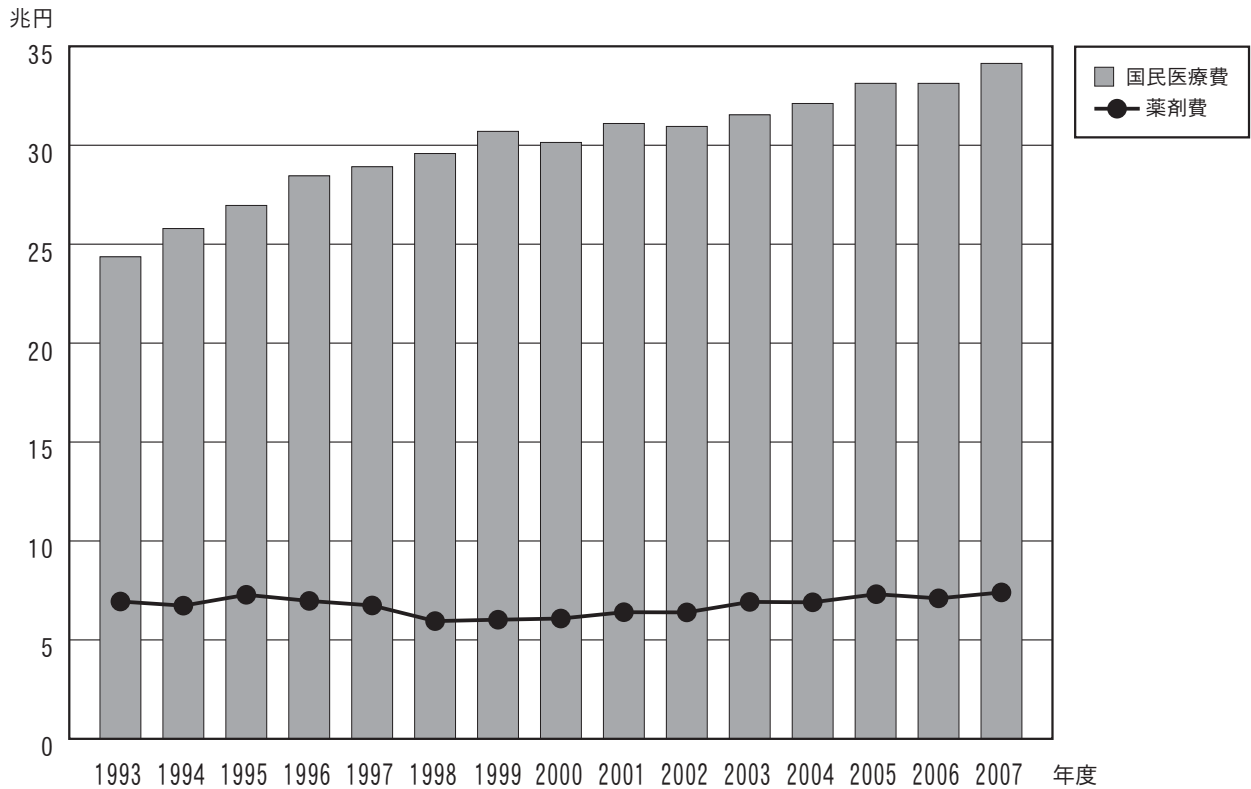
医科、調剤の入院外医療費を薬剤費、人工腎臓(透析)、調剤薬局の技術料と医科本体その他、に分けて年次推移をみると、2001年から2009年の伸びの大半は薬剤費2.0兆円によって占められ、人工腎臓(透析)、調剤薬局技術料の伸びを除くと、医科本体の医療費の伸びは僅か0.02兆円に過ぎない。

薬剤費は増加しているが医科入院外の薬価差益を乖離率から計算すると、2001年度0.21兆円、2009年度0.24兆円とほぼ同額である。

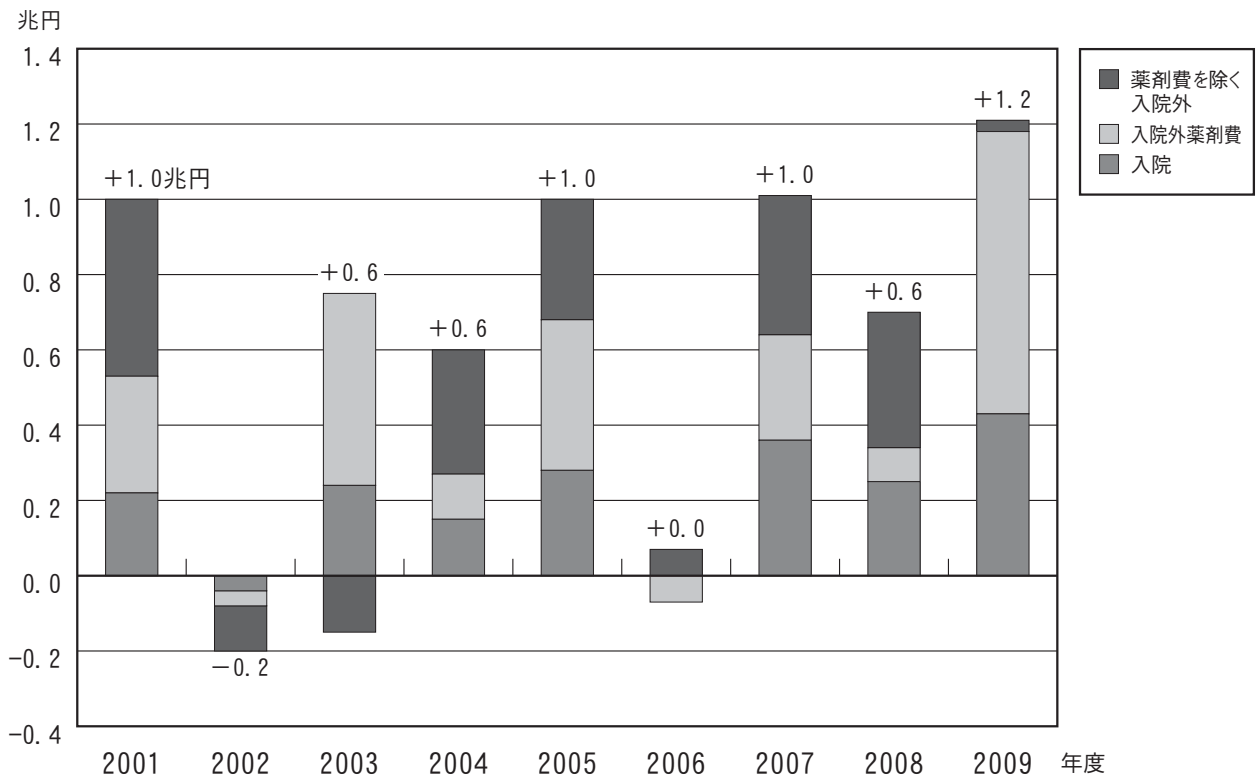
2001年度から2009年度の8年間の入院外医療費は医科、歯科ともに実質的に、ほとんど増加しておらず、医療費自然増の本体は膨張する薬剤費にあると言える。

補足：入院医療費は2001年度から2009年度の8年間に1.7兆円増加している。この間に入院医療費に占める包括医療費の比率は12.4%から54.7%と増加、出来高医療費は87.6%から45.3%と減少している。このため、見かけ上の入院薬剤費(出来高)は減少している。包括された薬剤費の推計額は公表されていない。

## 国民医療費と薬剤費の推移 (中医協資料22.6.23 薬-2より)

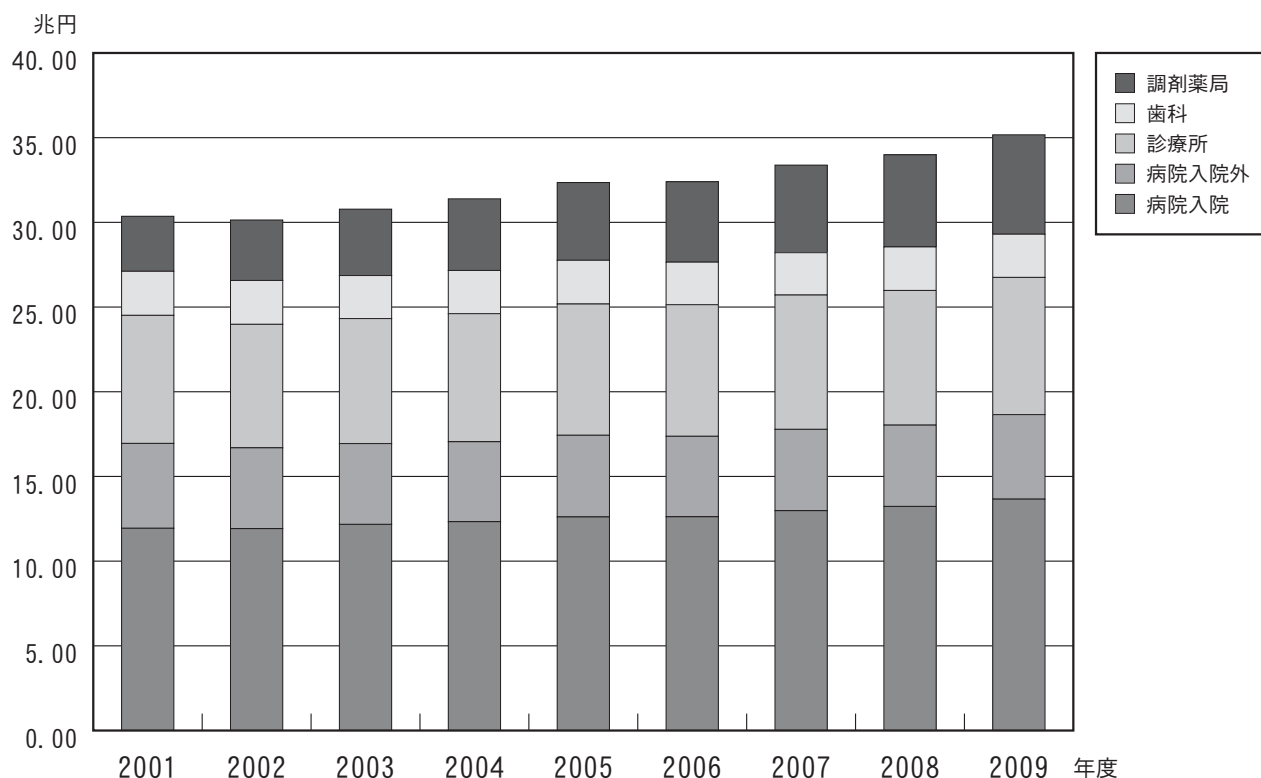


## 概算医療費の対前年増減額



全国保険医団体連合会作成

## 総医療費の推移



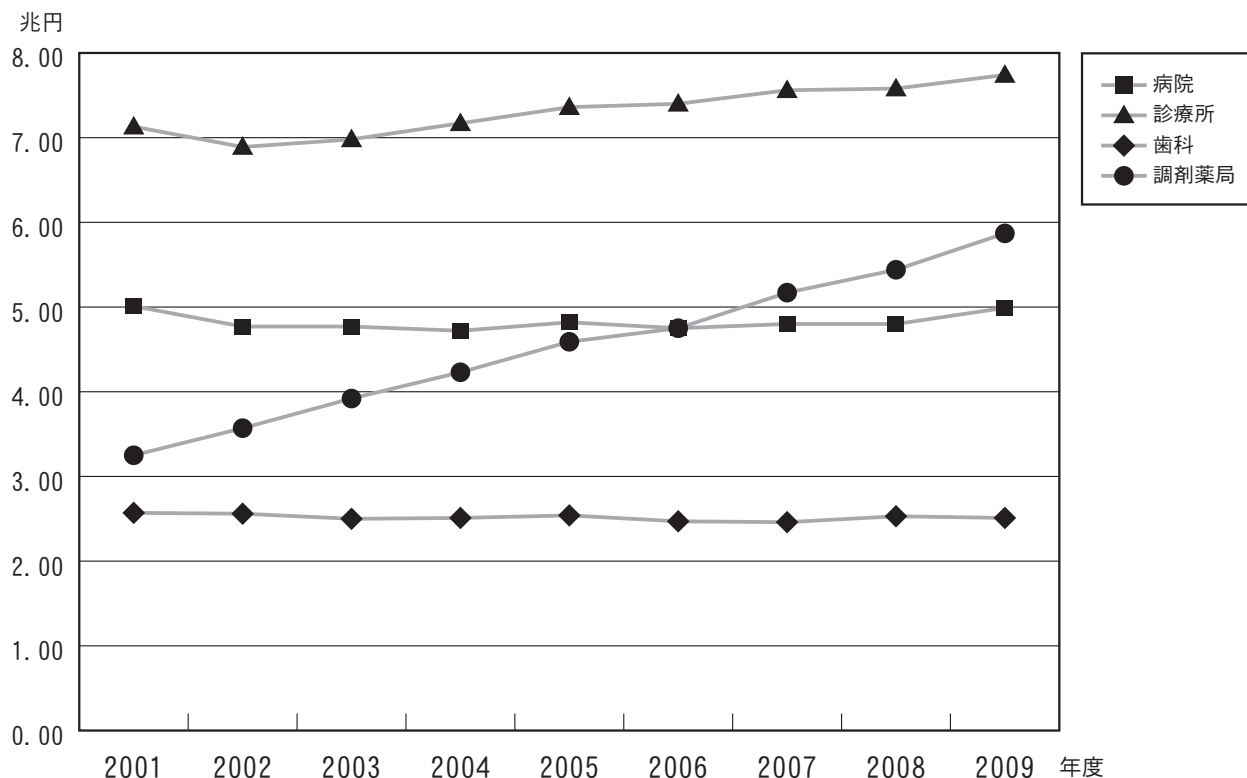
単位：兆円

	病 院			診療所 (含む入院)	歯科	調剤薬局	概算医療費	国民医療費
	入院	外来	合計					
2001年度	11.94	5.01	16.94	7.56	2.60	3.25	30.39	30.4
2002年度	11.92	4.77	16.69	7.29	2.59	3.57	30.18	30.2
2003年度	12.17	4.77	16.94	7.38	2.54	3.92	30.81	30.8
2004年度	12.33	4.72	17.05	7.56	2.55	4.23	31.43	31.4
2005年度	12.61	4.82	17.43	7.75	2.58	4.59	32.40	32.4
2006年度	12.62	4.75	17.37	7.77	2.51	4.75	32.44	32.4
2007年度	12.98	4.80	17.78	7.93	2.50	5.17	33.44	33.4
2008年度	13.23	4.80	18.03	7.95	2.57	5.44	34.06	34.1
2009年度	13.66	4.99	18.66	8.10	2.55	5.87	35.25	-
伸び額	1.73	-0.01	1.71	0.54	-0.06	2.62	4.86	
伸び率	14.7%	-0.3%	10.3%	7.3%	-2.3%	93.8%	16.6%	

メディアス-制度別医療機関種別医療費より作成  
 ※国民医療費には、公費医療、柔道整復、はり、きゅう、マッサージ他を含む

概算医療費は2001年度から2009年度までの8年間で4.9兆円増加している。  
 増加した内訳をみると、調剤薬局が2.6兆円でトップ、続いて病院の入院が1.7兆円、  
 診療所（含む入院）の伸びは0.5兆円に過ぎず、歯科はほぼ横ばいである。

## 入院外医療費の推移



単位：兆円

	病院	診療所	歯科	調剤	合計
2001年度	5.01	7.13	2.57	3.25	17.95
2002年度	4.77	6.89	2.56	3.57	17.78
2003年度	4.77	6.98	2.50	3.92	18.17
2004年度	4.72	7.17	2.51	4.23	18.63
2005年度	4.82	7.36	2.54	4.59	19.32
2006年度	4.75	7.40	2.47	4.75	19.36
2007年度	4.80	7.56	2.46	5.17	19.99
2008年度	4.80	7.58	2.53	5.44	20.35
2009年度	4.99	7.74	2.51	5.87	21.10
伸び額	-0.01	0.61	-0.06	2.62	3.15
伸び率	-0.3%	8.5%	-2.3%	80.5%	17.6%

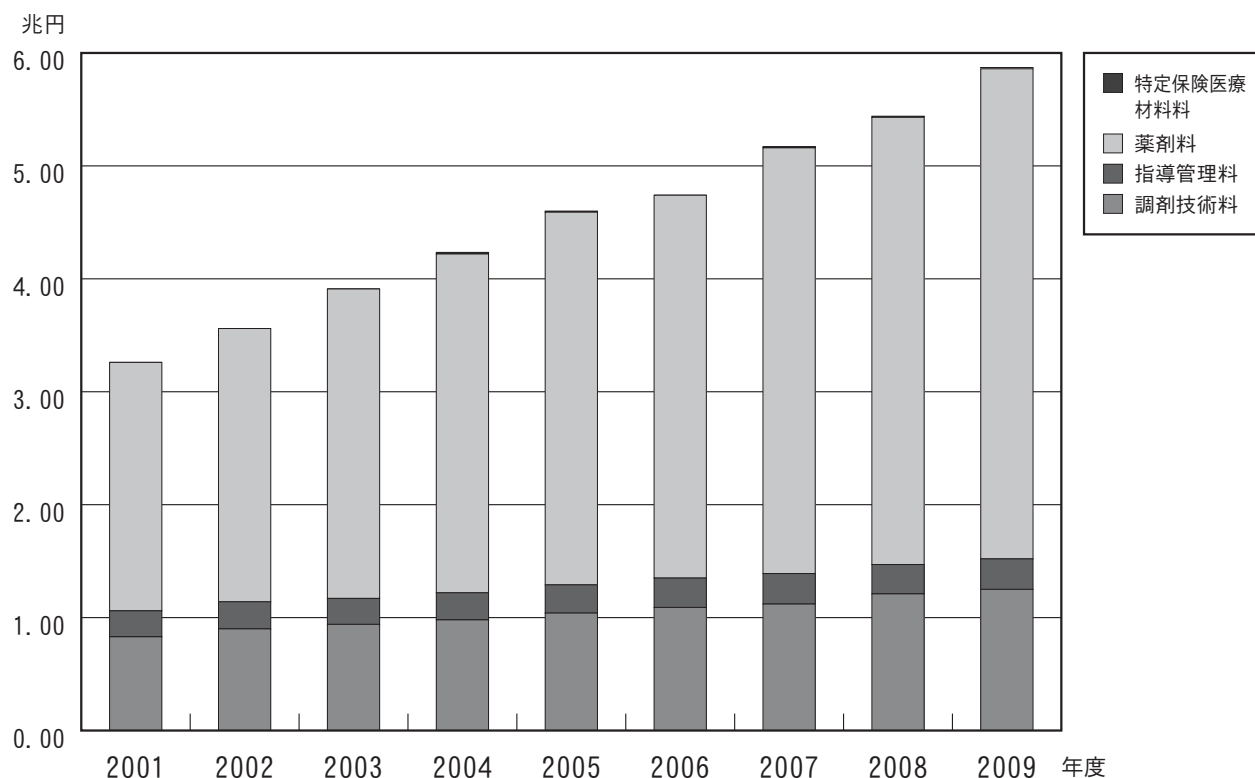
改定率		
本体	調剤	薬価*
▲1.3%	▲1.3%	▲6.3%
±0%	±0%	▲4.2%
▲1.36%	▲0.6%	▲6.7%
+0.38%	+0.17%	▲5.2%
2010年改定		
+1.55%	+0.52%	▲5.75%

メディアス-制度別医療機関種別医療費より作成

\* 薬価ベース

入院外医療費は8年間で3.2兆円増加している。中でも調剤薬局の伸びが2.6兆円（+80.5%）と著しい。  
診療所（入院外）の伸びは0.6兆円、歯科はほぼ横ばいである。

## 調剤薬局医療費の推移



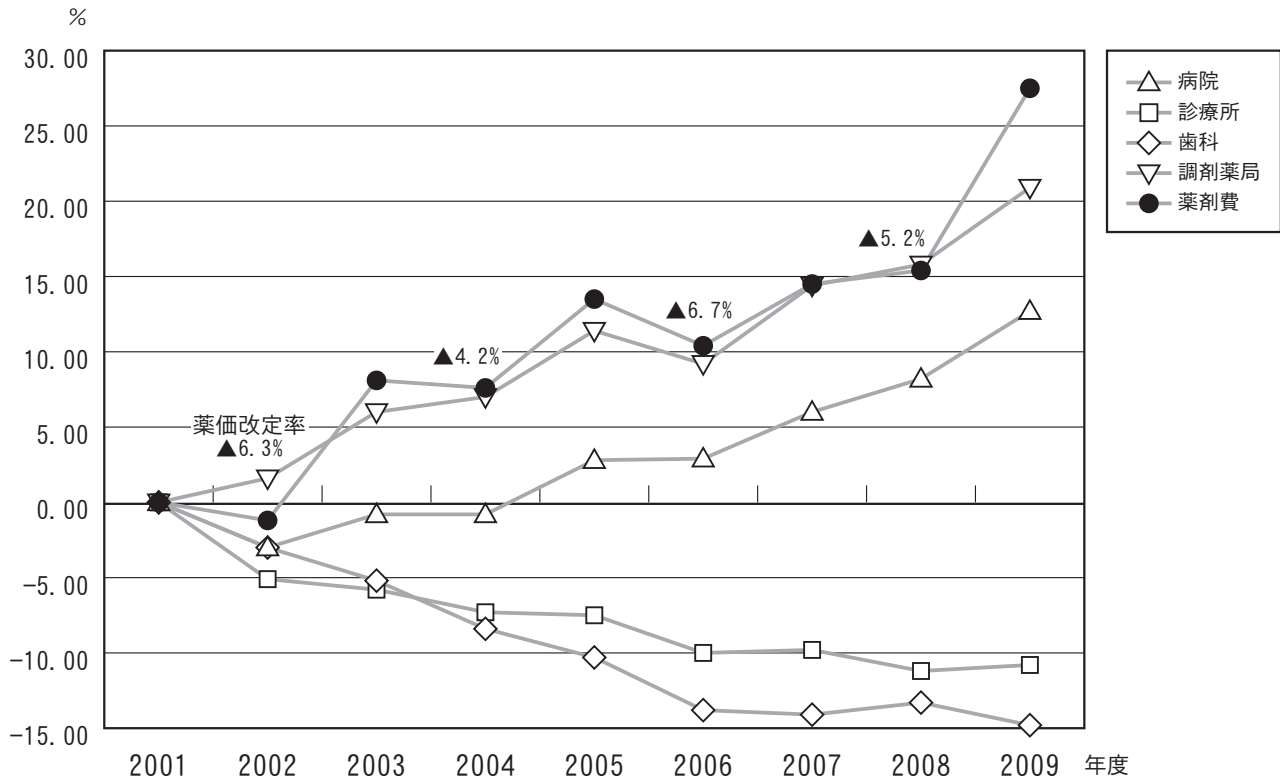
単位：兆円

	調剤技術料	指導管理料	薬剤料	特定保険医療材料料	合計	院外処方率
2001年度	0.83	0.23	2.20	0.00	3.25	41.5%
2002年度	0.90	0.24	2.42	0.00	3.57	46.0%
2003年度	0.94	0.23	2.74	0.00	3.92	48.9%
2004年度	0.98	0.24	3.00	0.01	4.23	51.7%
2005年度	1.04	0.25	3.30	0.01	4.59	52.8%
2006年度	1.09	0.26	3.39	0.00	4.75	54.6%
2007年度	1.12	0.27	3.77	0.01	5.17	59.8%
2008年度	1.21	0.26	3.96	0.01	5.44	59.3%
2009年度	1.25	0.27	4.34	0.01	5.87	62.0%

メディアス-制度別医療機関種別医療費、社会医療診療行為別調査より作成

調剤薬局の医療費の増加は主に薬剤費の増加によることがわかる。

# 入院外レセプト 1 件当り医療費の伸び率の推移



入院外	医科レセプト 件数: 億件	薬剤費: 兆円			1 件当り: 円	
		医科	調剤薬局	合計	薬剤費	伸び率
2001年度	9.02	2.91	2.20	5.11	5,657	0.0%
2002年度	9.07	2.65	2.42	5.07	5,587	-1.2%
2003年度	9.12	2.83	2.74	5.58	6,115	8.1%
2004年度	9.36	2.70	3.00	5.69	6,085	7.6%
2005年度	9.49	2.80	3.30	6.09	6,422	13.5%
2006年度	9.64	2.63	3.39	6.02	6,245	10.4%
2007年度	9.72	2.53	3.77	6.30	6,477	14.5%
2008年度	9.78	2.42	3.96	6.39	6,526	15.4%
2009年度	9.89	2.79	4.34	7.13	7,212	27.5%
伸び額	0.86	-0.12	2.15	2.03	1,555	26.0%
伸び率	9.6%	-4.2%	97.8%	39.7%	27.5%	

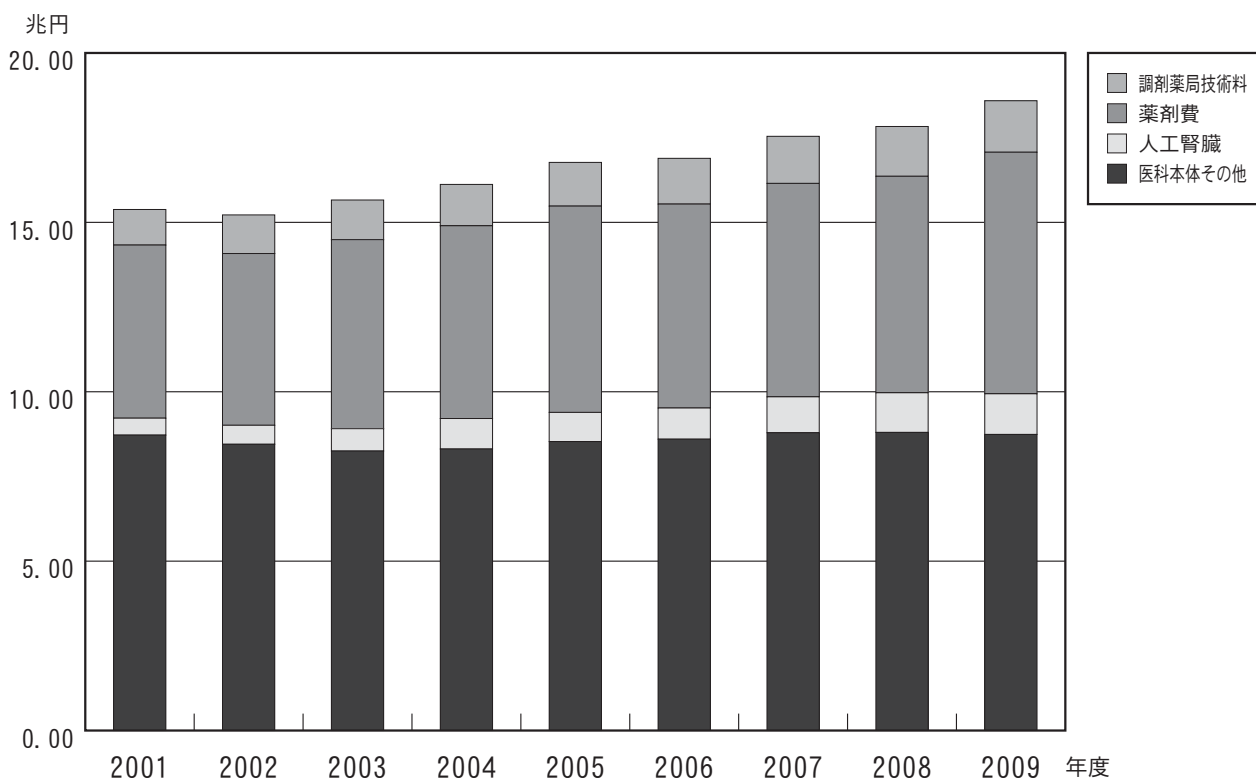
レセプト1件当りで見ると、入院外医療費は歯科、医科診療所ともに年々減少している。病院の入院外医療費が増加しているのは、病院の入院外レセプト件数の減少によるものと考えられる。薬価改定率には新薬の分は加味されていない。レセプト1件当り薬剤料は、薬価改定年には一過性に低下するものの、年々増加を続け、2009年には+27.5%と急速に増加している。

メディアス-制度別医療機関種類別医療費、社会医療診療行為別調査より作成

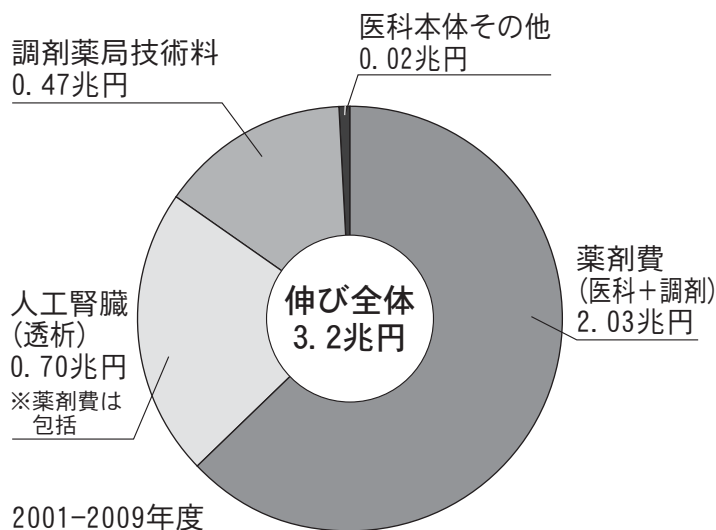
入院外	レセプト件数: 億件				医療費: 兆円				レセプト1件当り医療費: 円				伸び率(対2001年度)			
	病院	診療所	歯科	調剤	病院	診療所	歯科	調剤	病院	診療所	歯科	調剤	病院	診療所	歯科	調剤
2001年度	3.28	5.74	1.67	3.62	5.01	7.13	2.57	3.25	15,262	12,409	15,403	8,979	0	0	0	0
2002年度	3.22	5.85	1.71	3.91	4.77	6.89	2.56	3.57	14,799	11,781	14,943	9,120	-3.0%	-5.1%	-3.0%	1.6%
2003年度	3.15	5.97	1.71	4.12	4.77	6.98	2.50	3.92	15,135	11,686	14,603	9,518	-0.8%	-5.8%	-5.2%	6.0%
2004年度	3.12	6.24	1.78	4.40	4.72	7.17	2.51	4.23	15,136	11,498	14,106	9,605	-0.8%	-7.3%	-8.4%	7.0%
2005年度	3.07	6.42	1.84	4.59	4.82	7.36	2.54	4.59	15,689	11,478	13,818	10,005	2.8%	-7.5%	-10.3%	11.4%
2006年度	3.02	6.62	1.86	4.84	4.75	7.40	2.47	4.75	15,711	11,172	13,275	9,805	2.9%	-10.0%	-13.8%	9.2%
2007年度	2.97	6.75	1.86	5.03	4.80	7.56	2.46	5.17	16,179	11,193	13,224	10,271	6.0%	-9.8%	-14.1%	14.4%
2008年度	2.91	6.87	1.89	5.23	4.80	7.58	2.53	5.44	16,513	11,023	13,347	10,397	8.2%	-11.2%	-13.3%	15.8%
2009年度	2.90	6.99	1.91	5.41	4.99	7.74	2.51	5.87	17,206	11,073	13,127	10,859	12.7%	-10.8%	-14.8%	20.9%

メディアス-制度別医療機関種類別医療費より作成

## 医科・調剤薬局の入院外医療費の内訳と推移



	医科・調剤入院外医療費				合計
	薬剤費	人工腎臓 (透析)	調剤薬局技術料	医科本体その他*	
2001年度	5.11	0.50	1.05	8.72	15.39
2002年度	5.07	0.56	1.14	8.45	15.22
2003年度	5.58	0.66	1.17	8.25	15.66
2004年度	5.69	0.90	1.22	8.31	16.12
2005年度	6.09	0.86	1.29	8.53	16.78
2006年度	6.02	0.92	1.35	8.60	16.89
2007年度	6.30	1.06	1.39	8.79	17.53
2008年度	6.39	1.17**	1.47	8.80	17.82
2009年度	7.13	1.20**	1.52	8.74	18.60
伸び額	2.03	0.70	0.47	0.02	3.21
伸び率	39.7%	132.6%	39.4%	0.2%	20.9%



\* 薬剤費と人工腎臓を除いた医科本体入院外医療費

\*\* 前年伸び率、透析患者数より推計

メディアス-制度別医療機関種類別医療費、社会医療診療行為別調査より作成

入院外医療費の伸びの大半は薬剤費によって占められ、人工腎臓(透析)、調剤薬局技術料の伸びを除くと、医科本体の医療費の伸びは0.02兆円に過ぎない。医療機関の薬価差益を乖離率から計算すると、2001年度0.21兆円、2008年度0.24兆円と増加していない。薬価差益の国民医療費に占める割合は0.6%である。